

# 平成30年度 学習・生活実態調査のデータ分析報告 平成31年 3月20日

## ○【調査項目】

### (1)概要

- ・学年
- ・性別
- ・学部
- ・現在の住まい
- ・通学方法
- ・一週間当たりのアルバイト時間

### (2)ふだんの時間の過ごし方について

- ・一週間の授業外学修時間
- ・大学の授業の出席
- ・友達つき合い
- ・サークル・部活動
- ・社会活動(ボランティア活動等)
- ・その他の時間の過ごし方

### (3)大学卒業後の進路について

- ・進路(就職・大学院)の活動開始時期
- ・進路(就職・大学院)の決定状況(省略)

### (4)満足度

- ・施設・設備
- ・進路支援の体制
- ・教員について
- ・授業・教育システムについて
- ・友人関係
- ・大学生活の総合的判断

## ○【調査方法・時期】 310名の回答で回答率 81%

- (1)調査学生:平成30年度に在学する1年生から4年生までの学生。
- (2)調査方法:学内インターネットを通して、学生が入力する方式。
- (3)調査時期:1月末から2月中旬頃

## 1. 概要(回答者数)

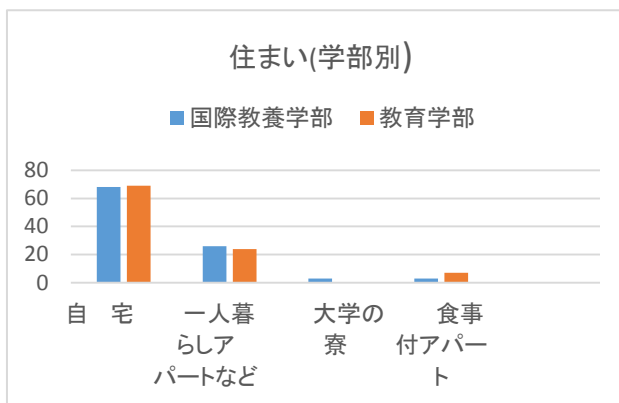
(1)学 年	
1年生	112人 (99%)
2年生	67人 (61%)
3年生	66人 (82%)
4年生	65人 (83%)
計	310人

(2)学 部	
国際教養学部	176人 (78%)
教育学部	134人 (86%)
(3)性 別	
男子	115人
女子	195人

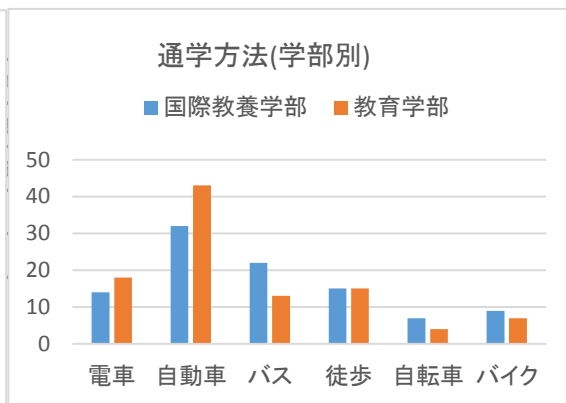
(4-1)本学生の住まい(全体)	
自 宅	212人 (68%)
アパートなど	77人 (25%)
大学の寮	5人 (2%)
食事付アパート	15人 (5%)
その他	1人 (0%)

(5)通学方法	
徒歩	47人 (15%)
自転車	18人 (6%)
バイク	25人 (8%)
自家用車	114人 (37%)
電車	49人 (16%)
バス	57人 (18%)

(4-2) 本学生の住まい(学部別)



(5-2) 通学方法(学部別)



本学生の住まいは両学部とも70%近い学生が「自宅」である。通学方法は両学部とも「自動車」が一番多く、特に教育学部は「自動車」で通学している学生が多い。次に多いのは、国際教養学部は「バス」通学で、教育学部は「電車」通学が多いのが分かる。

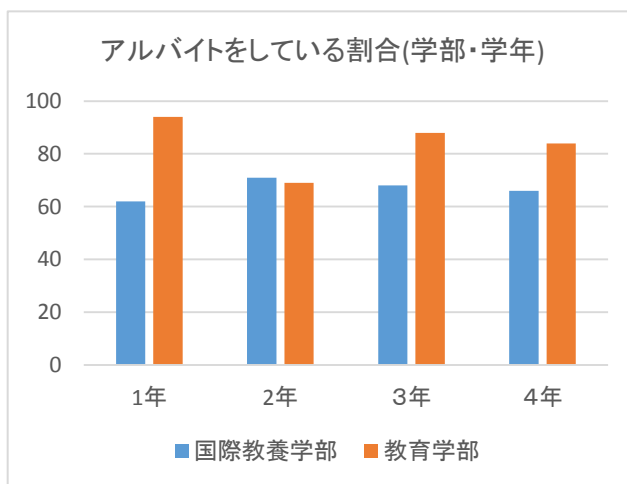
## 2. あなたの大学生生活についてお聞きます。

### 【1】一週間のアルバイト平均時間

【学年別平均】
・1年生(11h) ・2年生(10h)
・3年生(11h) ・4年生(13h) ・全体(11時間)

【国際教養学部】
・1年生(9h) ・2年生(11h)
・3年生(8h) ・4年生(11h) ・全体(10時間)

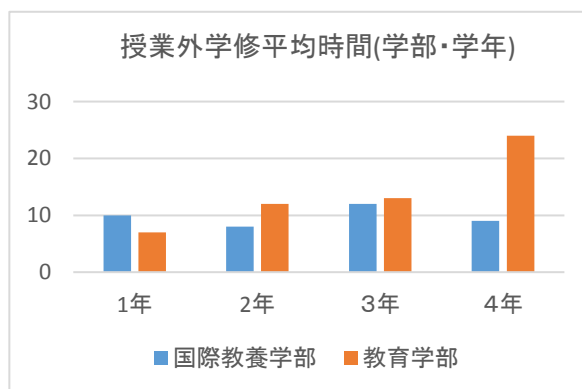
【教育学部】
・1年生(13h) ・2年生(10h)
・3年生(14h) ・4年生(15h) ・全体(13時間)

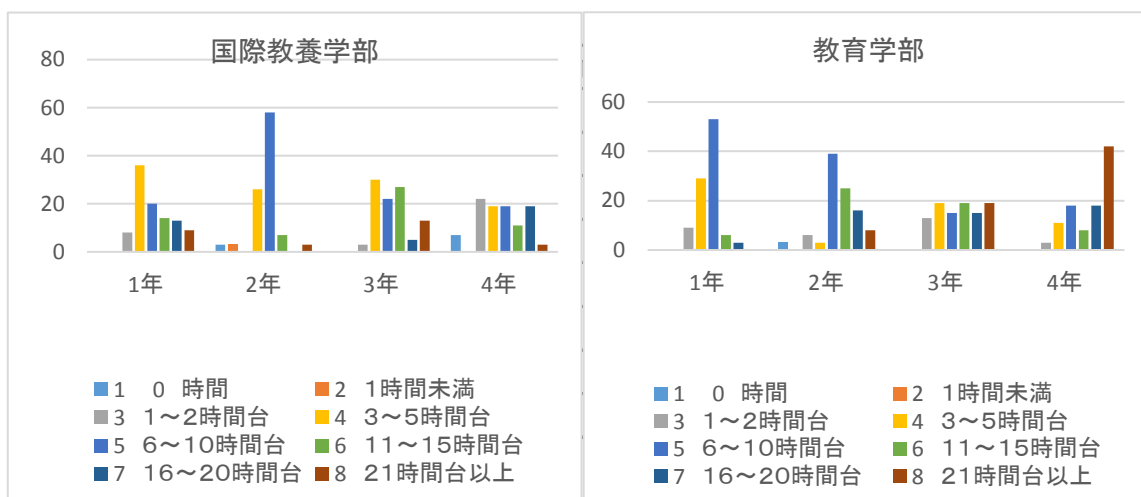


(表には出ていないが)アルバイトをしていると回答した学生は全体で75%いる。その比率は国際教養学部が平均67%、教育学部が84%で、教育学部の方がアルバイトをしている学生が多い。

### 【2】一週間の授業外学修平均時間

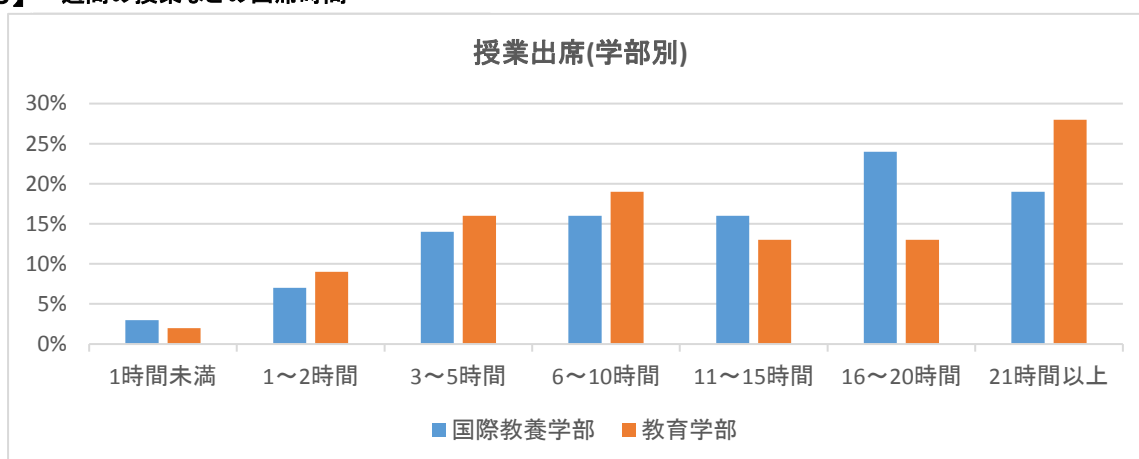
【国際教養学部・平均時間】
1年生(10h) 2年生(8h)
3年生(12h) 4年生(9h) 全体(10h)
【教育学部・平均時間】
1年生(7h) 2年生(12h)
3年生(13h) 4年生(24h) 全体(14h)





一週間の授業を除く学修時間は、学生によってかなり差がある。前ページにある通り、全体的に週平均6~10時間だが、一日当たりになると、1時間未満~1.5時間と大変少ない。ほとんど学修しない学生がいる反面、国際教養学部で一日8時間、教育学部では一日10時間と回答している者もいた。学年別に見ると、学修時間のピークは、国際教養学部は3年生だが、教育学部は4年生である。概して、教育学部の方が勉強量が多い。

### 【3】一週間の授業などの出席時間



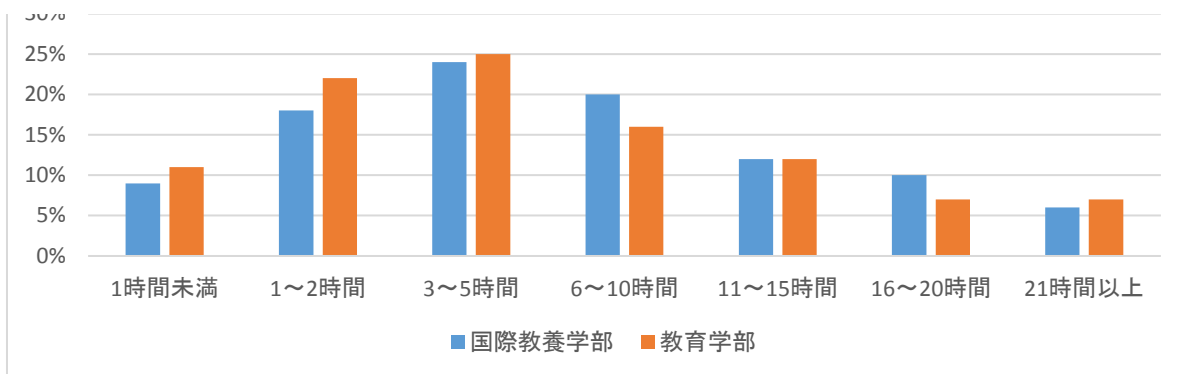
【1学年】	
①	21時間台以上 36人 (32%)
②	16~20時間台 24人 (21%)
【2学年】	
①	21時間台以上 24人 (36%)
②	16~20時間台 14人 (21%)

【3学年】	
①	16~20時間台 20人 (30%)
②	6~10時間台 17人 (26%)
【4学年】	
①	3~5時間台 28人 (43%)
②	6~10時間台 14人 (22%)

授業への出席時間が、21時間台以上が1年生、2年生と最多を占めるが、3年生、4年生になるに従って減少し、4年生には3~5時間が43%と最多となっている。また、2年生から出席時間が0時間という学生が僅かながら見られる。

### 【4】一週間の友達つきあいの時間



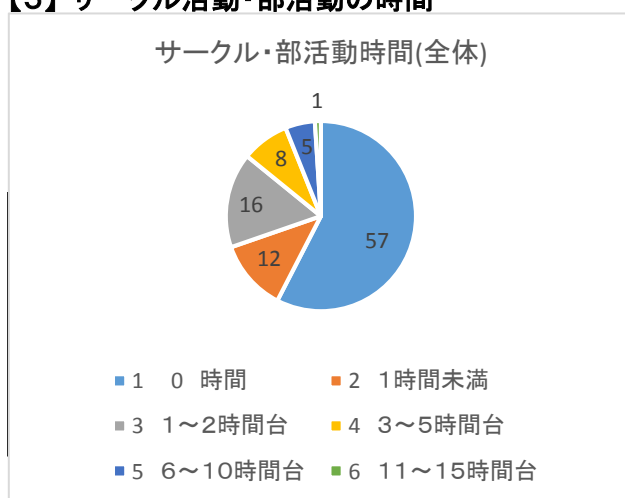


【1学年】		
①	3～5時間台	26人 (43%)
②	1～2時間台	19人 (17%)
【2学年】		
①	6～10時間台	16人 (24%)
②	1～2時間台	14人 (21%)

【3学年】		
①	6～10時間台	16人 (24%)
②	3～5時間台	14人 (21%)
【4学年】		
①	3～5時間台	23人 (35%)
②	1～2時間台	16人 (25%)

普段の時間の過ごし方として、両学部とも3～5時間を友達つきあいに費やしている学生の割合が最も多い。

### 【5】サークル活動・部活動の時間



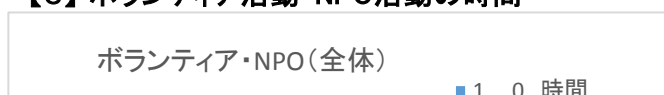
【1学年】		
①	0時間	57人 (51%)
②	1～2時間台	19人 (17%)
【2学年】		
①	0時間	38人 (57%)
②	1～2時間台	15人 (22%)
【3学年】		
①	0時間	31人 (47%)
②	1～2時間台	13人 (20%)
【4学年】		
①	0時間	51人 (78%)
②	1時間未満	7人 (11%)

【国際教養学部】		
①	0時間	93人 (53%)
②	1～2時間台	29人 (16%)

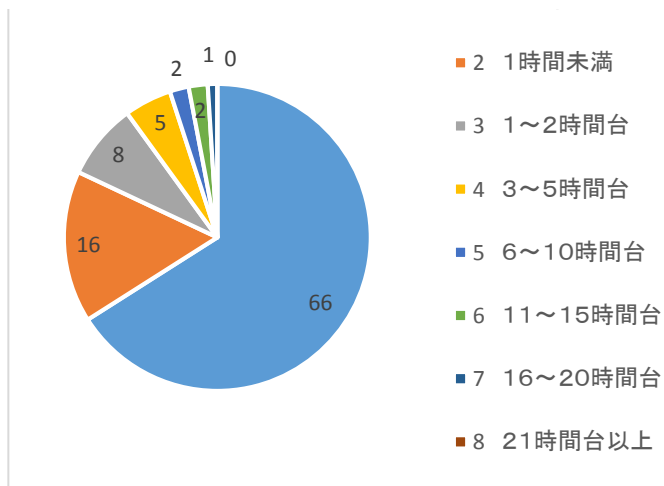
【教育学部】		
①	0時間	84人 (63%)
②	1～2時間台	21人 (16%)

サークル・部活動に費やしている時間は6割近くが0時間であり、活動しても1～2時間台が多い。

### 【6】ボランティア活動・NPO活動の時間



【1学年】		
①	0時間	70人 (63%)



②	1時間未満	26人 (23%)
<b>【2学年】</b>		
①	0時間	47人 (70%)
②	1時間未満	8人 (12%)
<b>【3学年】</b>		
①	0時間	38人 (58%)
②	1時間未満	11人 (147%)
<b>【4学年】</b>		
①	0時間	50人 (77%)
②	1～2時間台	6人 (9%)

<b>【国際教養学部】</b>		
①	0時間	108人 (61%)
②	1時間未満	33人 (19%)

<b>【教育学部】</b>		
①	0時間	97人 (72%)
②	1時間未満	17人 (13%)

学生のボランティア活動等への参加は全体的に少ない。66%の学生が0時間を占めている。

### 【7】 その他(TV等)の時間

<b>【全体】</b>		
①	3～5時間台	65人 (21%)
②	6～10時間台	50人 (16%)
<b>【国際教養学部】</b>		
①	3～5時間台	40人 (23%)
②	11～15時間台	29人 (16%)
<b>【教育学部】</b>		
①	1～2時間台	26人 (19%)
②	3～5時間台	25人 (19%)

<b>【1学年】</b>		
①	3～5時間台	24人 (21%)
②	1～2時間台	19人 (17%)
<b>【2学年】</b>		
①	3～5時間台	17人 (25%)
②	11～15時間台	14人 (21%)
<b>【3学年】</b>		
①	3～5時間台	13人 (20%)
②	1～2時間台	10人 (15%)
<b>【4学年】</b>		
①	6～10時間台	13人 (20%)
②	3～5時間台	11人 (17%)

普段の時間の過ごし方として、TV鑑賞などの余暇の時間が、1年生、2年生、3年生は3～5時間にピークが見られるが、4年生になると6～10時間がピークとなる。4年生になると授業への出席時間が減り、自宅で過ごす時間が増えてくるものと思われる。

これまでのアルバイト、授業出席、友達つきあい、サークル活動、ボランティア活動の様子を見ると、全体として授業出席が減った分、サークル活動やボランティア活動よりもアルバイト、友達つきあいに多くの時間をかけている実態が見えてくる。

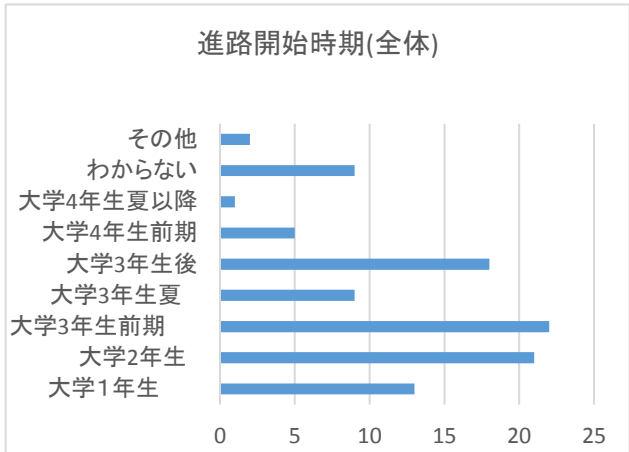
### 【8】 卒業後の進路活動開始準備・時期

<b>【全体】</b>		
①	大学3年	120人 (44.6%)
【前期】(35) 【夏季】(15) 【後期】(48) 【記述なし】		

<b>【国際教養学部】</b>		
①	大学3年	76人 (48.7%)
【前期】(23) 【夏季】(10) 【後期】(26) 【記述なし】		

② 大学2年 61人 (22.6%)

② 大学2年 26人 (16.6%)
<b>【教育学部】</b>
① 大学3年 39人 (34.5%)
【前期】(12) 【夏季】(5) 【後期】(22) 【記述なし】
② 大学2年 35人 (30.9%)



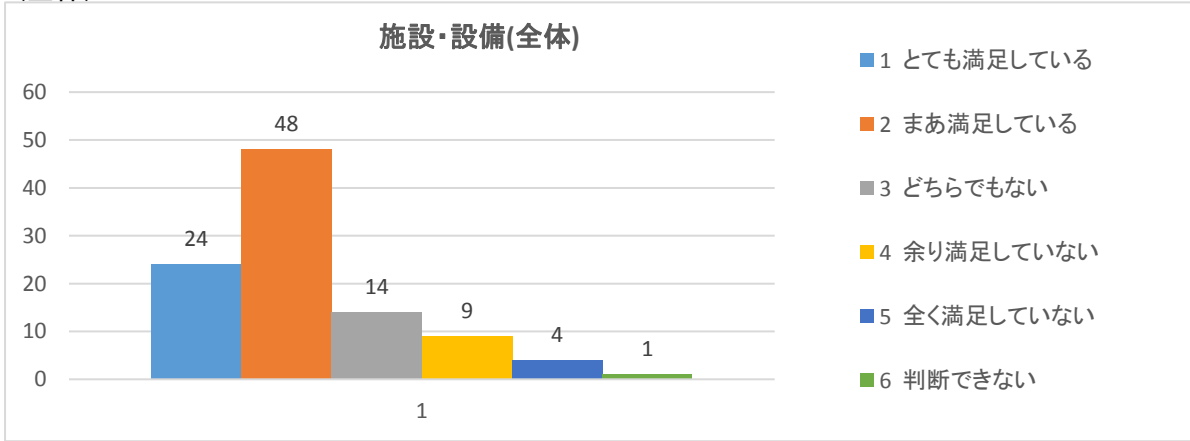
卒業後の進路について開始時期を質問したところ、両学部とも1位が3年生、2位が2年生である。内容は学部によって異なり、国際教養学部は3年生と回答した学生が48.7%で、教育学部は3年生と2年生とに分かれている。教育学部は教育実習等が国際教養学部より早く始まるために、進路に対しての意識が2年生に出てくるのだろう。

**3. あなたの大学生生活における満足度についてお聞きします。**

\* 評価の方法として、質問項目の中で「とても満足している」「まあ満足している」の回答をプラス評価、「あまり満足していない」「全く満足していない」などをマイナス評価と示している。

**【1】施設・設備(図書館やインターネットの利用など)にどのくらい満足していますか。**

(全体)



《プラス評価》 ( )内の数字は昨年度

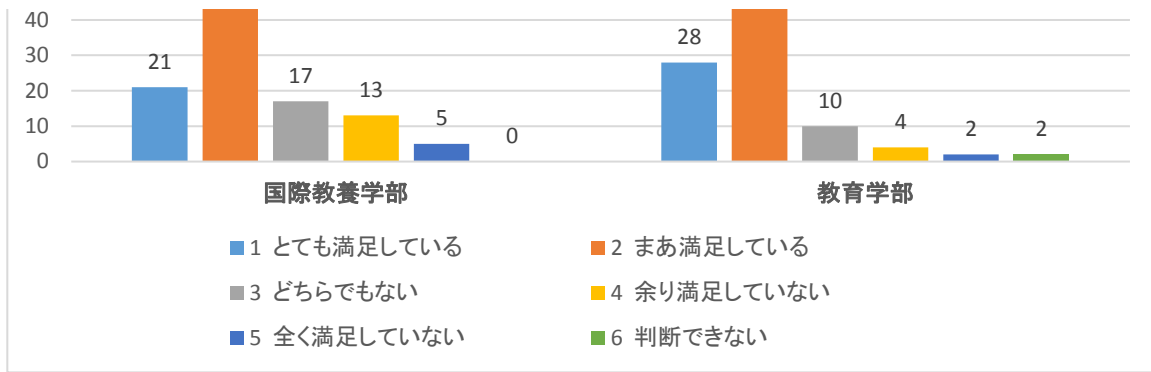
《マイナス評価》 ( )内の数字は昨年度

72% (54)	13% (25)
----------	----------

(施設・設備)

(学部別)



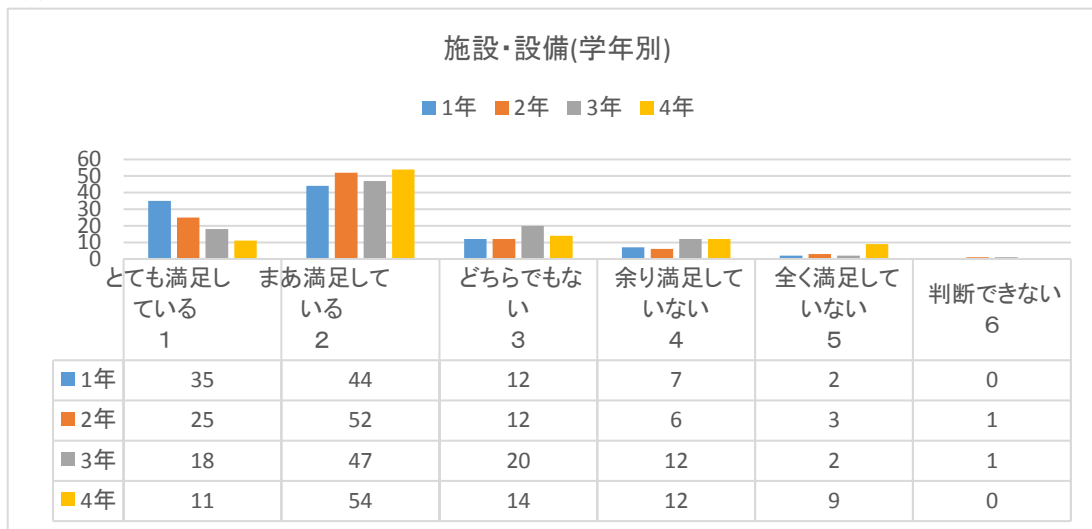


《プラス評価》 ( )内の数字は昨年度

《マイナス評価》 ( )内の数字は昨年度

国際教養学部	65%	(35)	18%	(30)
教育学部	82%	(65)	6%	(19)

(学年別)



《プラス評価》 ( )内の数字は昨年度

《マイナス評価》 ( )内の数字は昨年度

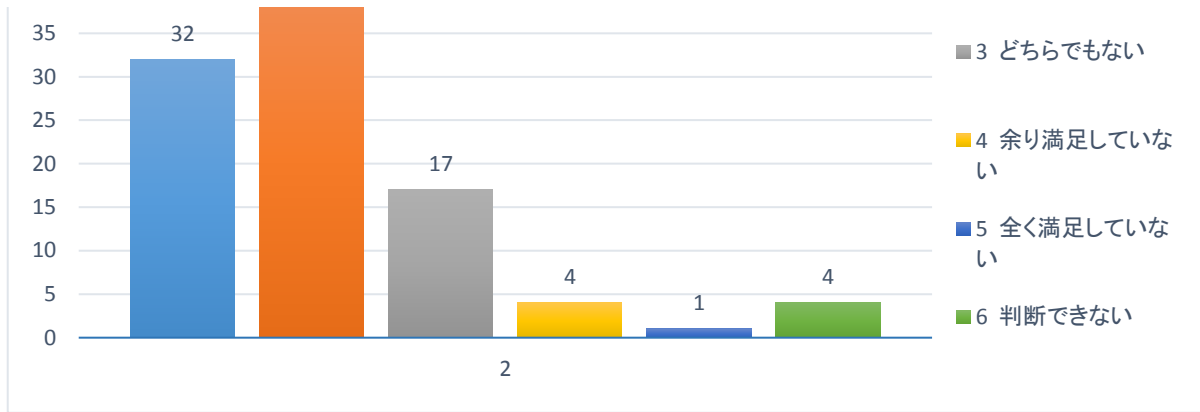
1年生	79%	(70)	9%	(12)
2年生	77%	(43)	9%	(29)
3年生	65%	(56)	14%	(30)
4年生	65%	(33)	21%	(42)

昨年度と比べると、全体プラス評価は54%から18ポイント上がり72%になった。学部・学年ともに大幅に良くなった。特に国際教養学部のプラス評価は30ポイント、4年生のプラス評価も32ポイント上がり、これまで長い間、改善が求められてきた施設・設備の評価において変化の兆しが見られる。

【2】進路支援の体制(教員採用試験対策、就職セミナーやガイダンスなど)にどのくらい満足していますか。

(全体)



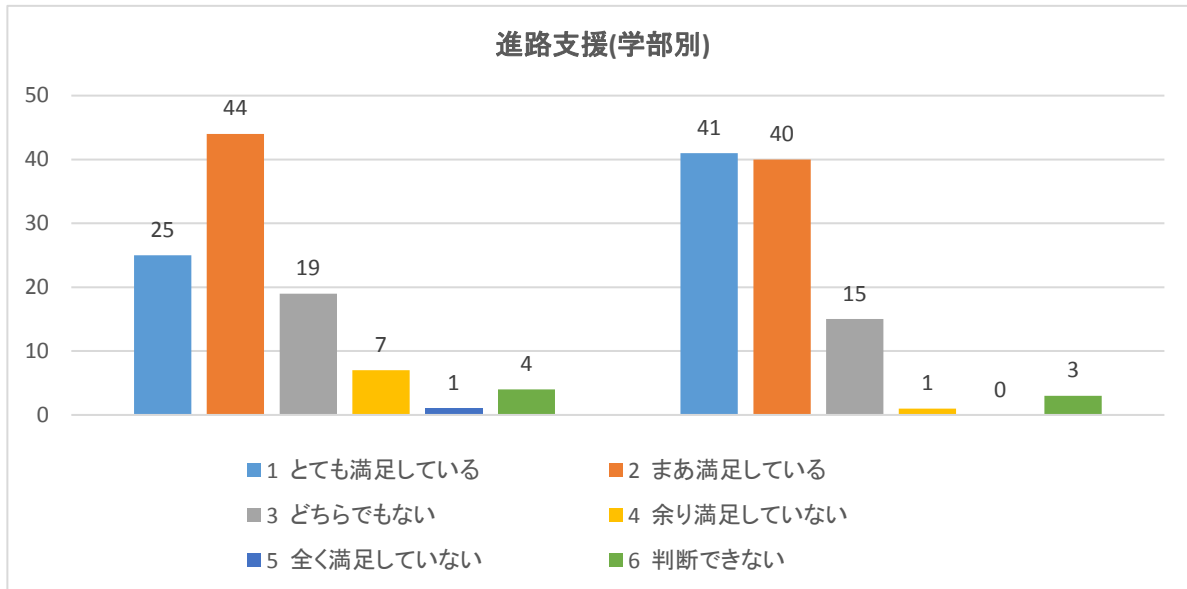


《プラス評価》( )内の数字は昨年度

《マイナス評価》( )内の数字は昨年度

74%	(54)	5%	(12)
-----	------	----	------

(学部別)



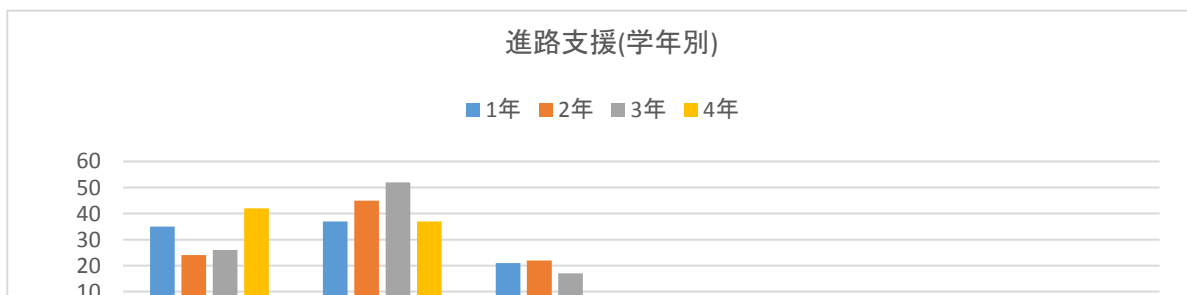
《プラス評価》( )内の数字は昨年度

《マイナス評価》( )内の数字は昨年度

国際教養学部	69%	(46)	8%	(13)
教育学部	81%	(66)	1%	(10)

(進路支援)

(学年別)





	0	1	2	3	4	5	6
	とても満足している	まあ満足している	どちらでもない	余り満足していない	全く満足していない	判断できない	
■1年	35	37	21	2	0	5	
■2年	24	45	22	6	0	3	
■3年	26	52	17	4	0	1	
■4年	42	37	8	6	2	4	

《プラス評価》( )内の数字は昨年度

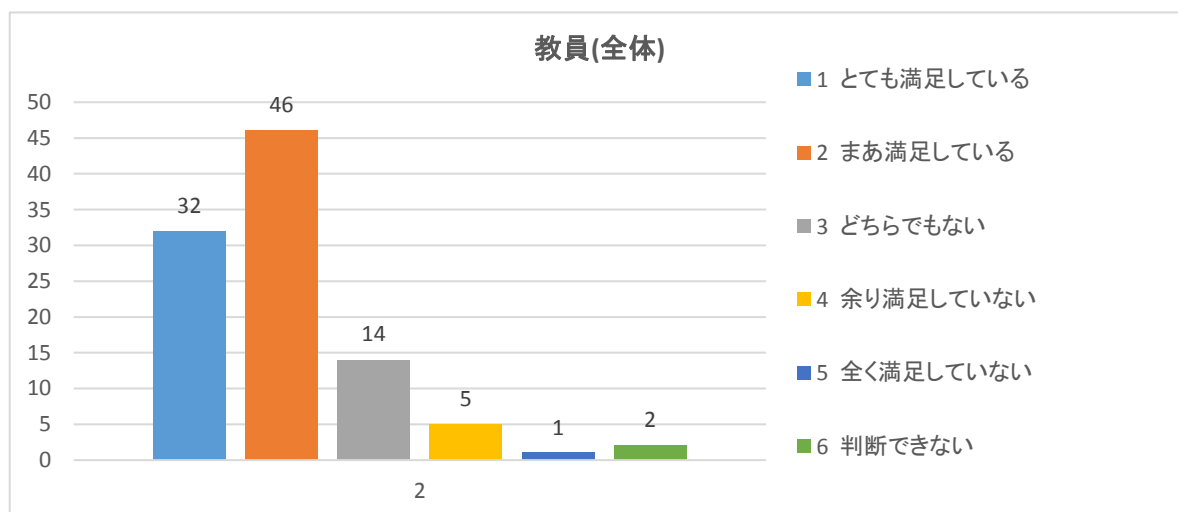
《マイナス評価》( )内の数字は昨年度

1年生	72%	(59)	2%	(7)
2年生	69%	(42)	6%	(13)
3年生	78%	(59)	4%	(16)
4年生	79%	(55)	8%	(16)

昨年度と比べると、全体的に高評価である。国際教養学部は昨年度よりプラス評価が23ポイント伸びている。教育学部は「とても満足している」「まあ満足している」の2つの領域とも高評価を受けている。

### 【3】教員(専門性の高さやよい影響を受けるなど)、どのくらい満足していますか。

(全体)



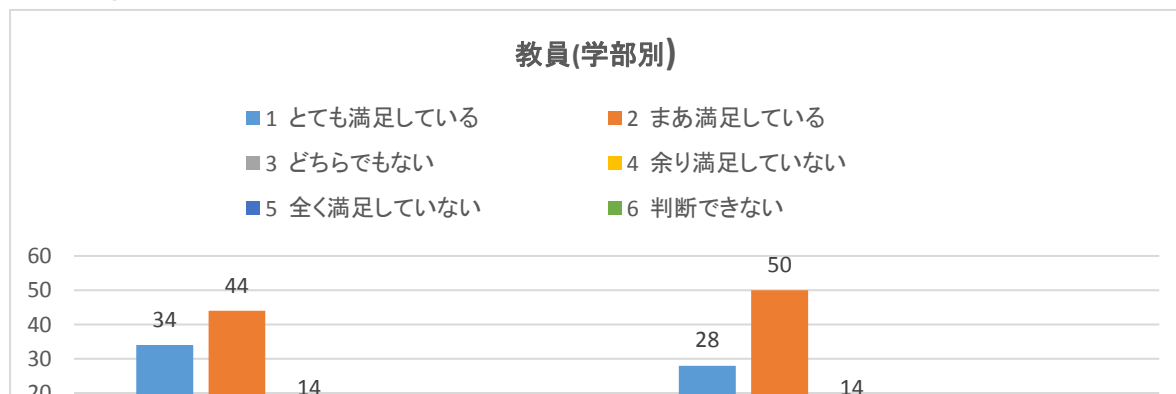
《プラス評価》( )内の数字は昨年度

《マイナス評価》( )内の数字は昨年度

78%	(64)	6%	(9)
-----	------	----	-----

(教員)

(学部別)



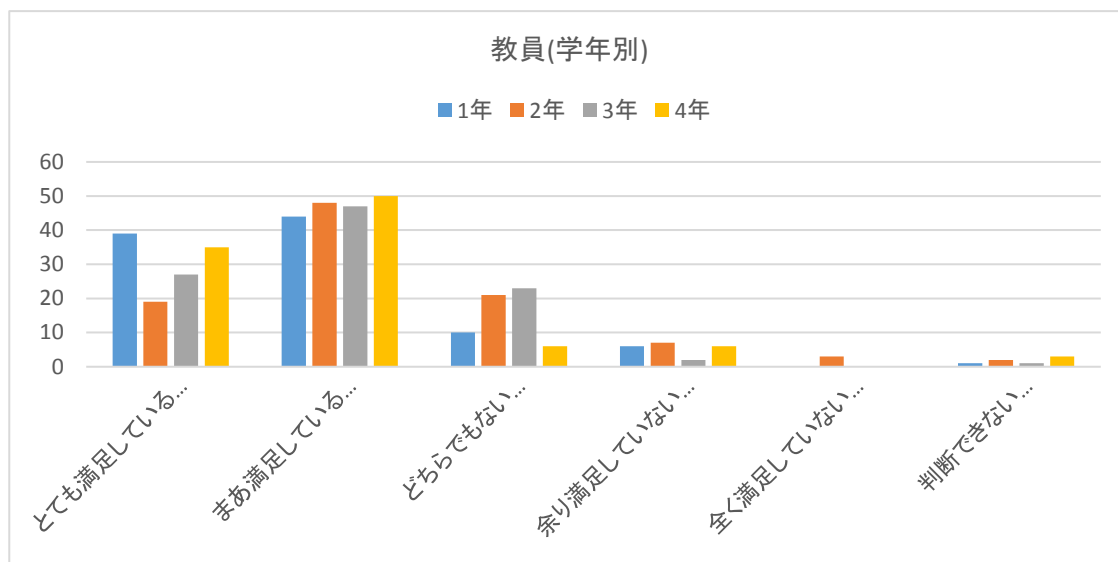


《プラス評価》( )内の数字は昨年度

《マイナス評価》( )内の数字は昨年度

国際教養学部	78%	(64)	6%	(11)
教育学部	78%	(64)	6%	(7)

(学年別)



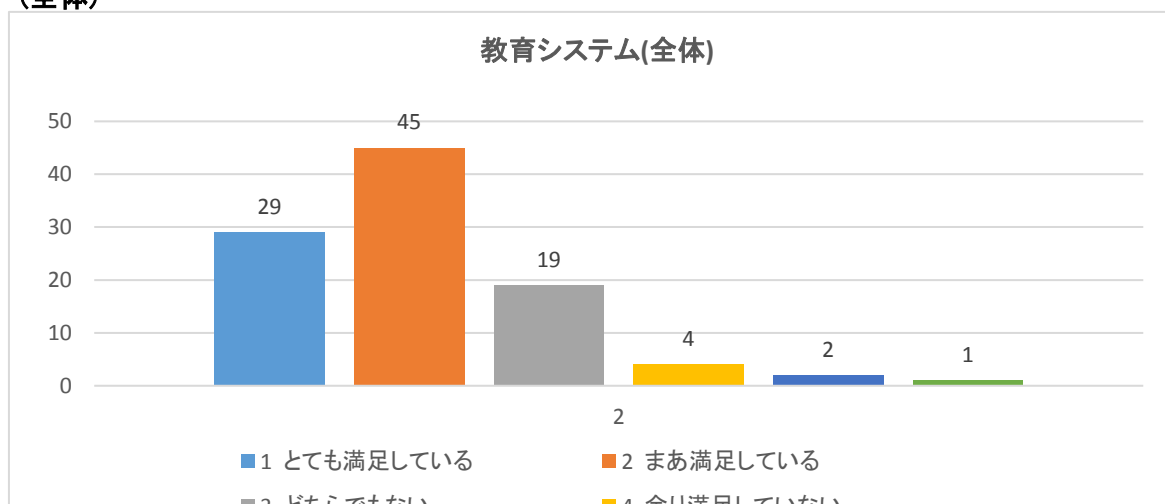
《プラス評価》( )内の数字は昨年度

《マイナス評価》( )内の数字は昨年度

1年生	83%	(68)	6%	(6)
2年生	67%	(53)	10%	(13)
3年生	74%	(71)	2%	(9)
4年生	85%	(61)	6%	(12)

【4】授業・教育システム(教育内容やカリキュラム、ゼミ(教科、教職、卒論等)など)

(全体)



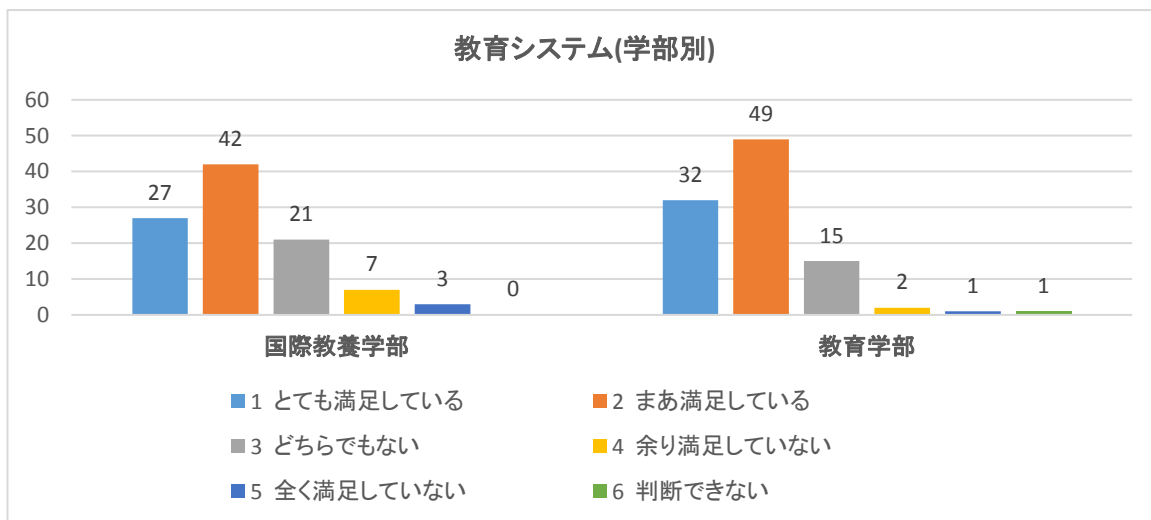
- 3 どちらでもない
- 4 余り満足していない
- 5 全く満足していない
- 6 判断できない

《プラス評価》( )内の数字は昨年度

《マイナス評価》( )内の数字は昨年度

74% (62)	6% (14)
----------	---------

(学部別)



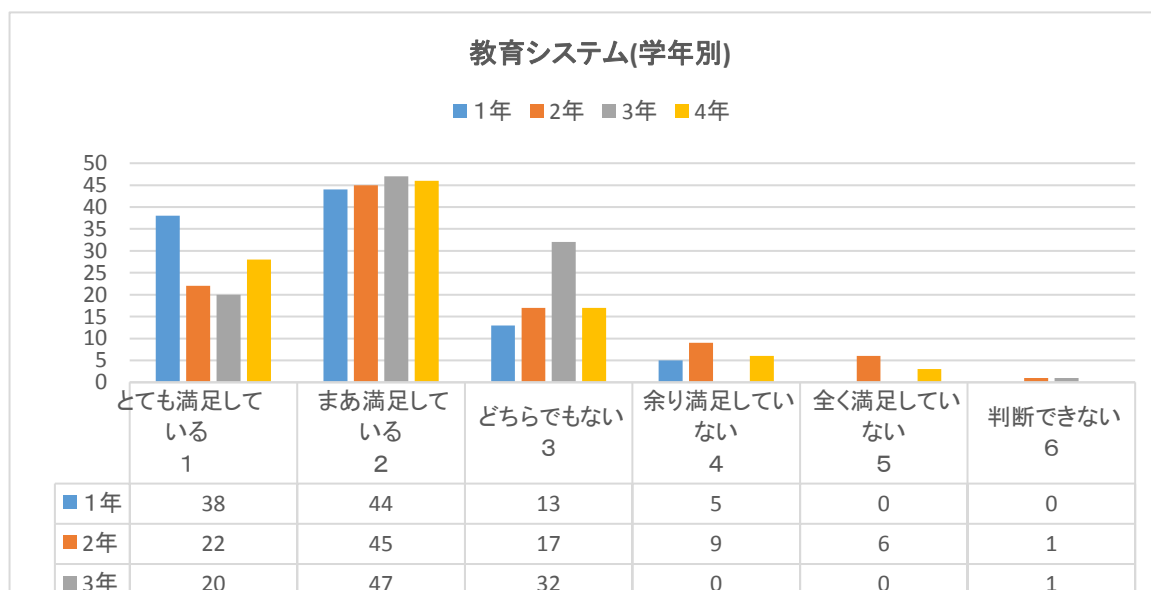
《プラス評価》( )内の数字は昨年度

《マイナス評価》( )内の数字は昨年度

国際教養学部	69% (60)	10% (17)
教育学部	81% (65)	3% (11)

(教育システム)

(学年別)



■4年	28	46	17	6	3	0
-----	----	----	----	---	---	---

《プラス評価》( )内の数字は昨年度

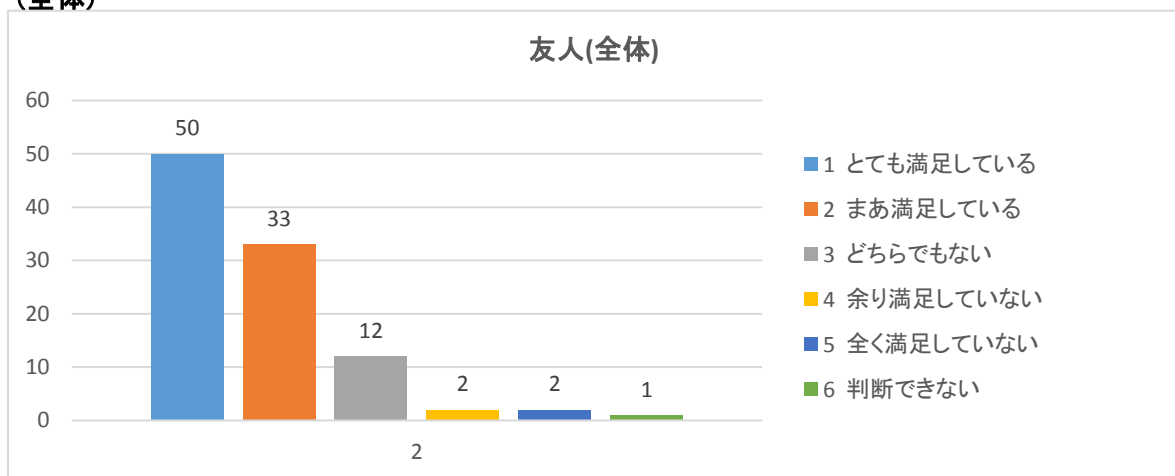
《マイナス評価》( )内の数字は昨年度

1年生	82%	(74)	5%	(8)
2年生	67%	(54)	15%	(13)
3年生	67%	(57)	0%	(20)
4年生	74%	(56)	9%	(21)

全体的に評価がよい。学年のマイナス評価に注目すると、2年生のみマイナス評価が若干増えている。  
3・4年生は満足していないと回答した学生が少なくなっている。

**【5】友人関係(本学について)、どのくらい満足していますか。**

(全体)



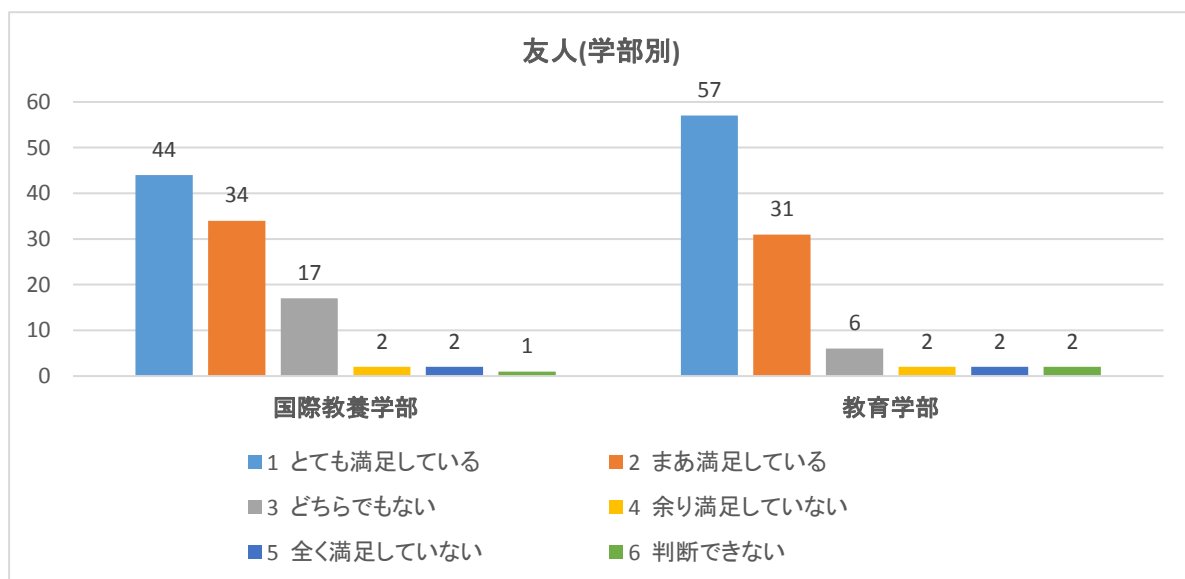
《プラス評価》( )内の数字は昨年度

《マイナス評価》( )内の数字は昨年度

83%	(81)	4%	(5)
-----	------	----	-----

(友人関係)

(学部別)

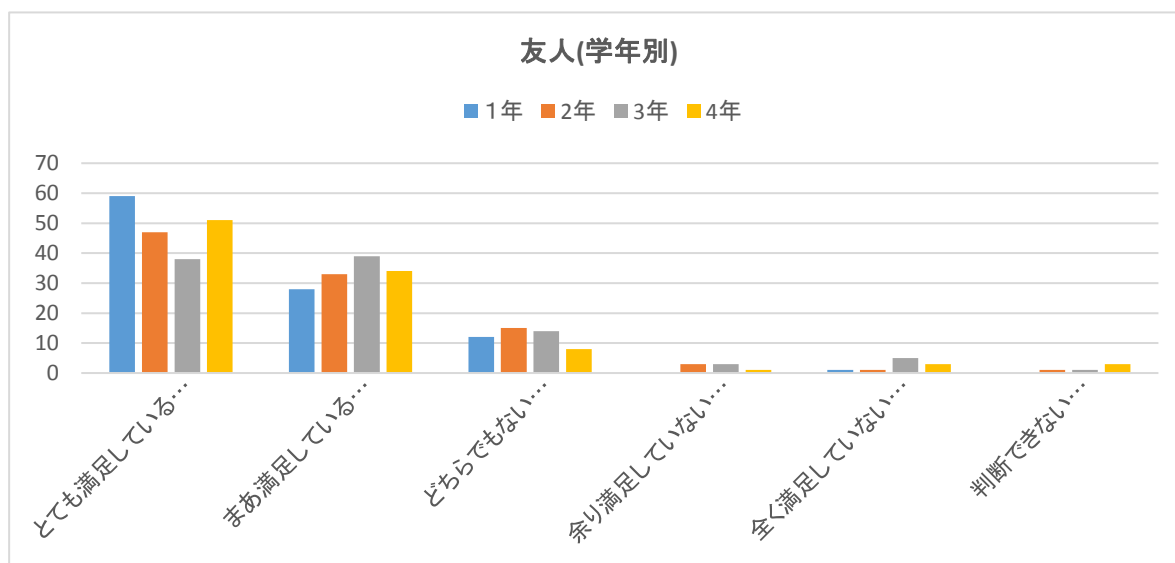


《プラス評価》( )内の数字は昨年度

《マイナス評価》( )内の数字は昨年度

国際教養学部	78%	(77)	4%	(4)
教育学部	88%	(85)	4%	(8)

(学年別)



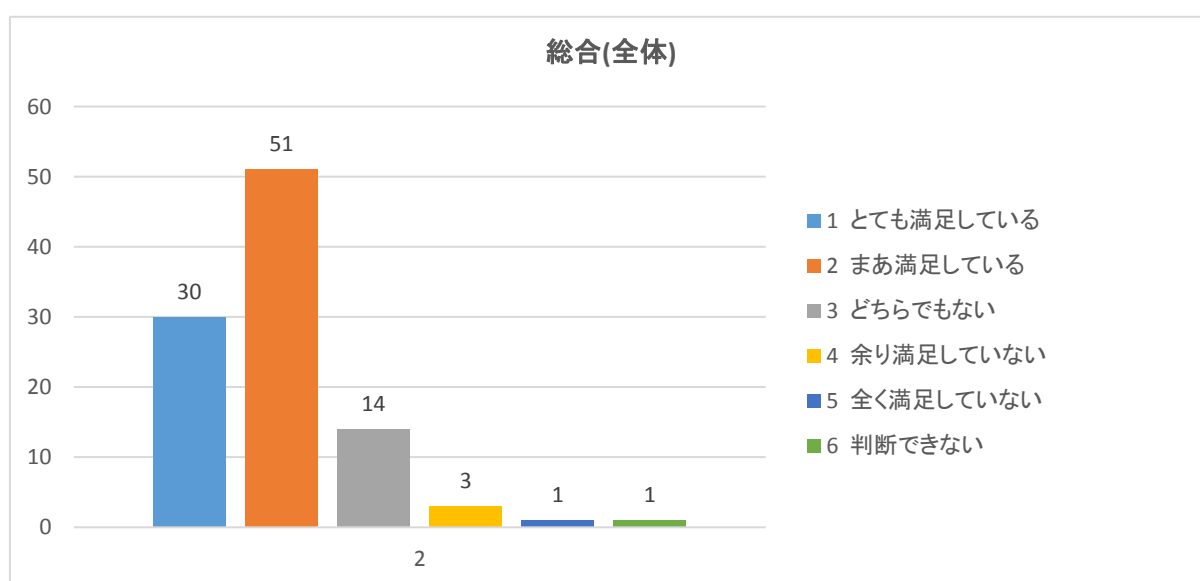
《プラス評価》( )内の数字は昨年度

《マイナス評価》( )内の数字は昨年度

1年生	87%	(83)	1%	(6)
2年生	80%	(70)	4%	(10)
3年生	77%	(84)	8%	(2)
4年生	85%	(84)	4%	(2)

(6) 大学生生活を総合的に判断して(本学について)、どのくらい満足していますか。

(全体)

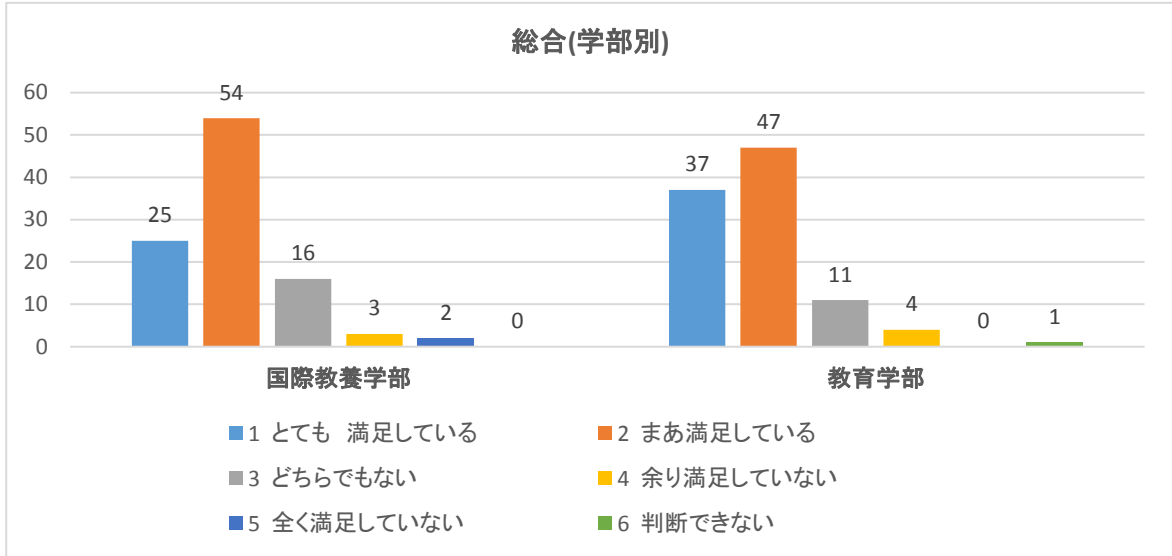


《プラス評価》( )内の数字は昨年度

《マイナス評価》( )内の数字は昨年度

81%	(69)	4%	(12)
-----	------	----	------

(学部別)



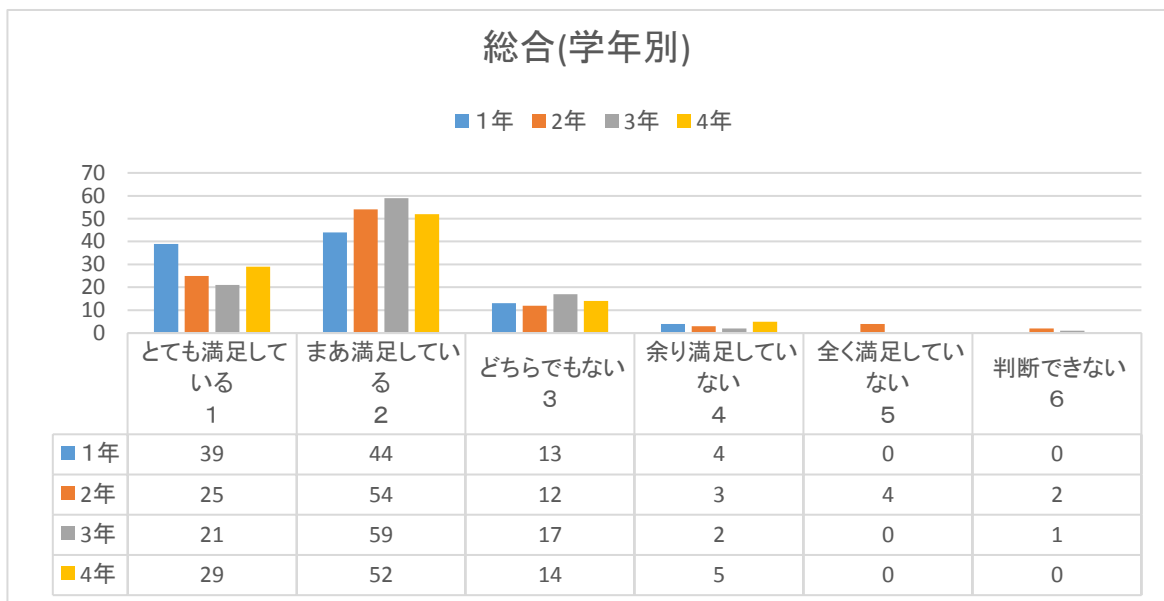
《プラス評価》( )内の数字は昨年度

《マイナス評価》( )内の数字は昨年度

国際教養学部	79%	(65)	5%	(13)
教育学部	84%	(75)	4%	(11)

(総合)

(学年別)



《プラス評価》( )内の数字は昨年度

《マイナス評価》( )内の数字は昨年度

1年生	83%	(74)	4%	(10)
2年生	79%	(61)	7%	(23)

3年生	80%	(72)	2%	(5)
4年生	81%	(63)	5%	(12)

### 最後に

大学生生活の満足度調査の項目の中で、「とても満足している」及び「まあ満足している」のプラス評価を高い順に並べると、【友人関係】83% 【総合】81%、【教員】78%、【進路体制】と【授業・教育システム】が同じ74%、【施設・設備】72%となった。逆に「あまり満足していない」及び「全く満足していない」のマイナス評価が最も高いのは【施設・設備】であった。ただ、昨年度のプラス評価が54%から72%に上がり、マイナス評価が25%から13%に減少したことは注目に値する。施設・設備の改善の試みが満足度の向上に繋がったということだろう。そして何より良かったのは、【大学生生活の総合】の評価が昨年度より、69%から81%に上がり、81%を示していることである。本年度の卒業時アンケートと同様、全体の8割以上の学生が総合的に判断して本学に満足しているという結果になった。今後、「とても満足している」自体を更に伸ばしていかなくてはならない。